

第3章 工事提出書類関係

3-1 提出書類

- 提出書類については、別冊の『公園土木工事共通仕様書』に基づくものとするが、公園灯工事等設備工事については、以下の書類についても提出を求めるものとする。
また、監督職員が必要と認める場合は、様式を変更して提出を求める場合がある。

(1) 工事着手前の提出書類

様式	書類名	部数	提出先	内 容	提出期限
	使用材料 (一覧表) 承諾願	3	監督 事業所	別紙「電気・機械設備工事の使用機器材の 選定について」によること	事前承認を 受けようと する時

(2) 工事施工中の提出書類

様式	書類名	部数	提出先	内 容	提出期限
企業 様式	低圧電気 使用申込書 (関西電力用)	1	設計担当	所定事項記入の上提出し公印を受け関西 電力に提出。廃止がある場合は新規とは 別に必ず提出。	
企業 様式	低圧電気使用 申込書(写し)	1	監督 事業所	受付番号記入のもの(廃止届けも同様)	
	機器等検査 試験成績 報告書	1		制御盤等指示するもので、工場立会検査 をしない場合でも社内検査を行い構造、 寸法、機能試験等の成績書を添付する。	

(3) 工事完成時の提出書類

様式	書類名	部数	提出先	内 容	提出期限
	完成機器図面	1	監督 事業所	照明器具、鉄柱、開閉器箱、ハンドホール、 ハンドホール蓋、ハンドホール内ケーブル 支持金物、ランプ自動点滅器、径合せアダ プター、アンカーゲージ、アンカーボルト等 機器類及び指示するもの。	工事完成後 10日以内
	工事出来高 数量計算書	2		設計書の各工種についての完成出来高 数量計算書	
指定	完成図書 (メンテナンス用)	2		指示により下記を製本にて、提出 (見本貸与) 工事出来高図面、完成機器図面、使用 材料承諾願、現場代理人及び主任技術 者届、接地抵抗測定記録、絶縁抵抗測定 記録、機器等検査試験成績報告書、	

電気・機械設備工事の使用機器材の選定について

本工事で使用する機器材は、JIS 及びこれら公的機関に準じる関係機関の規格品・認定品等とする。また、別表－１（工事用対象機器材一覧表（電気設備工事））・別表－２（工事用対象機器材一覧表（機械設備工事））に該当する場合は次のいずれかの条件を満たすものによる。

- (1) 直近の建築材料・設備機材等品質性能評価事業「(社) 公共建築協会」により評価を受けた機器材（製造者を示す場合は、その製造品）で、納品（工事）場所に納入が可能と記載されている
- (2) 大阪市ゆとりとみどり振興局の工事において納入実績のある機器材（製造者を示す場合は、その製造品）
- (3) 上記（１）～（２）以外の機器材は、設計図書に定める品質及び性能が確認できる次表の書類を提出し、本市監督職員の承諾を受ける

提出書類

No	書 類 名		備 考
I	機器仕様書		設計図書に定める品質及び性能が数値等で明記されている資料(汎用品は製品カタログも可能)
II	製造者の概要	事業所、営業所等住所	
		生産、販売実績	申請品の生産販売・納入実績（民間・他官公庁）が、別表－１及び２に示す主要機器材は５年以上、その他機器材は３年以上の期間が確認できる資料
		アフターサービス体制	納品（工事）場所がアフターサービス地区に含まれていることが確認できる資料

別表-1

工事用対象機器材一覧表(電気設備工事)

番号	分類	品名	適用		備考
			主要機器材	その他機器材	
25	配分電盤並びに開閉器類	金属閉鎖型スイッチギヤ及び コントロールギヤ(高圧用)	○		
26		配電盤並びに制御盤(高圧用)	○		
27		配電盤、制御盤並びに屋外自立盤・開閉器盤 (低圧用)		○	
28		屋外用分電盤・開閉器箱並びに端子盤 (分電盤形式の配電盤を含む)		○	
29		通信用端子盤		○	
37・38	電力機器	変圧器(油入・モールド)	○		
39		電力用コンデンサ及びリアクトル	○		
40		真空遮断器及び真空電磁接触器	○		
41		高圧気中負荷開閉器(電力ヒューズ付)	○		
42		過電流ロック機構付高圧気中負荷開閉器	○		
43		過電流ロック機構付高圧ガス負荷開閉器	○		
44		避雷器	○		
45・46	自家発電機器	自家発電原動機	○		
47		自家発電機装置	○		
1~10	その他機器	照明器具並びにランプ		○	
11		鋼管ポール	○		
48		無停電電源装置	○		
49		蓄電池並びに充電装置	○		
55		レジンコンクリート製ハンドホール		○	
56		ハンドホール用鉄蓋		○	
57		音響装置		○	
58		スピーカー		○	
59		チャイム		○	
60		インターホン		○	
61		ベルタイマー		○	
62		電気時計・太陽電池時計		○	
63・64		火災報知機・漏電火災警報機		○	
65		避雷針		○	
66		電子交換機	○		
67		電子ボタン電話装置		○	
68		電話機		○	

- ・主要機器材 : 申請品の生産販売・納入実績(民間・他官公庁)が5年以上ある。
- ・その他機器材 : 申請品の生産販売・納入実績(民間・他官公庁)が3年以上ある。
- ・配電盤及び制御盤等を同一の電気室に設置する場合は、原則としてメーカーを統一する。

別表-2

工事用対象機器材一覧表(機械設備工事)

番号	分類	品名	適用		備考
			主要機器材	その他機器材	
69～83	管類	鋼管ほか		○	
84～94	弁類及び継手類	特定設備(消防設備配管、空調冷温水・冷却水配管等)で 使用されるもの		○	
95	ポンプ並びに原動機類	電動機	○		
96		内燃機関(ポンプ用)	○		
97		横型渦巻ポンプ	○		
98		汚水・汚物ポンプ	○		
99		自吸式ポンプ	○		
100		水中モーターポンプ	○		
101		オイルギャポンプ	○		
102		真空給水ポンプ	○		
103		凝縮水ポンプ	○		
104	槽類並びに圧力容器 類	鋼製槽類	○		
105		FRP製一体タンク	○		
106		FRP製パネルタンク	○		
107		鋼板製パネルタンク	○		
108		圧力容器	○		
109	熱源機器類	遠心冷凍機	○		
110,111		チリングユニット(往復動式、スクリー式)	○		
112		吸収冷凍機	○		
113		ガス直だき吸収冷温水器(全般)	○		
114		冷却塔	○		
115	空調機器類	パッケージ形空調和機	○		
116		ユニット形空調和機	○		
117		ファンコイルユニット	○		
118	水濾過装置	水濾過装置(プール用【珪藻土又は砂式】)	○		

- ・主要機器材 : 申請品の生産販売・納入実績(民間・他官公庁)が5年以上ある。
- ・その他機器材 : 申請品の生産販売・納入実績(民間・他官公庁)が3年以上ある。
- ・同種類の機器については、原則としてメーカーを統一する。

平成 年 月 日

現場代理人 ○山 ○夫 (印)

工事名称 ○○区□□ ○丁目

[illegible]

※本書の承諾終了後に、記載事項の変更等が生じた場合は、すみやかに本市監督職員に報告し、指示を受けること。

平成 年 月 日

請負人 会 社 名 _____

現場代理人 (印)

工事名称

工事名称

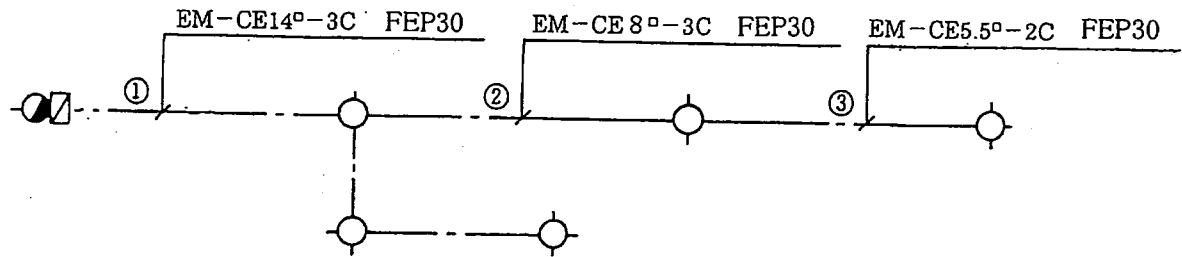
[illegible]

- | | |
|------|---|
| (注1) | 公的な規格品、認定品からの選定するもの。
選定内容の欄に規格等の名称を記入してください。 |
| (注2) | 建築材料・設備機材等品質性能評価事業（(社)公共建築協会）で評価を受け、納入（工事）場所に納入可能な機器材より選定するもの。
選定内容の欄に当該評価名簿の材料等の細目名称を記入又は評価書の写しを添付してください。 |
| (注3) | 大阪市ゆとりとみどり振興局の工事で納入実績がある機器材から選定するもの。
選定内容の欄に納入実績のある工事名称と完成年度を記入してください。 |
| (注4) | 設計図書に定める品質性能が確認できる書類を提出するもの。
製造者の事業所、営業所などの住所、生産販売、納入実績、アフターサービス体制などの書類を添付してください。 |

-40-

出来高数量計算書 作成例

系統図



1. 出来高数量は小数点以下第1位迄計上。
2. 長さは機器中心間で配管ルートを忠実に測定し平面距離のみとする。

出来高数量計算例

(1) ケーブル

種別	径間	設計数量(m)	出来高数量(m)	増減(m)	備考
EM-CE5.5-2C	③	4.0	5.0	+1.0	
	.	.	.	.	
	.	.	.	.	
	.	.	.	.	
	径間計	20.5	27.5	+5.5	
	立上り・ 立下り数量	1.5	1.5		
計		22.0	27.5	+5.5	
FEP30	③	4.0	5.0	+1.0	
	.	.	.	.	
	.	.	.	.	
	.	.	.	.	
	径間計	18.0	23.5	+5.5	
	立上り・ 立下り数量	1.5	1.5		
計		19.5	25.0	+5.5	

1. ケーブル及び電線管の立上り・立下り数量については、明細数量から径間数量の差を記入する。
2. 出来高数量表は、ケーブル及び配管の種類別ごとに計算を行うこと。

出来高数量計算例

(2) 機器等

種 別	形 状	設計数量	出来高数量	増 減	備 考
300 ^W 水銀灯	BD-300	4 灯	4 灯	± 0	
引込用鉄柱	BP-1	1 本	1 本	± 0	
公園灯開閉器箱	SB-1BS	1 面	1 面	± 0	

3-2 工事写真の撮り方

1. 工事写真の撮り方は、『公園土木工事共通仕様書 第IV編 土木工事施工管理基準 写真管理基準』によること。ただし、主要撮影場所に下記の場所も撮影すること。

2. 主要撮影場所

(1) 引込用鉄柱建柱、開閉器箱取付

- ア. 施工前
- イ. コンクリート基礎
- ウ. 鉄柱建込 グリスキャップ取付
- エ. 塗装(1回目、2回目)
- オ. 開閉器箱取付
- カ. 配管配線(開閉器箱内部、接地工事)
- キ. 完成

(2) 照明柱建柱

- ア. 施工前
- イ. コンクリート基礎
- ウ. 照明柱建柱 グリスキャップ取付
- エ. 塗装(1回目、2回目)
- オ. 配線結線、灯具取付(安定器まわり、灯具)
- カ. 完成
- キ. 点灯(夜間)

(3) コンクリート基礎工

- ア. 施工前
- イ. 掘削
- ウ. 砕石
- エ. 捨てコンクリート
- オ. 型枠据付[アンカーボルト(ゲージ付)、配管]
- カ. コンクリート打設
- キ. 型枠はずし
- ク. 接地工事
- ケ. 建柱
- コ. 水切仕上

(4) 地中埋設配管

- ア. 施工前
- イ. 掘削(深さ、幅)
- ウ. 配管(リーマ仕上げ、接着剤充てん、異種管の接続、防錆、防水処理、防蝕テープ巻き等)
- エ. 入線結線(開閉器箱内、ハンドホール内、鉄柱内等のケーブル端末処理等、接続結線、ケーブル名札取付)
- オ. ケーブル埋設表示シート布設
- カ. コンクリート打設

(5) ハンドホール

- ア. 施工前
- イ. 掘削
- ウ. 砕石
- エ. 捨てコンクリート
- オ. 型枠据付
- カ. 配筋
- キ. コンクリート打設
- ク. 型枠はずし
- ケ. ハンドボール蓋据付(水抜きパイプ、コンクリート打設、防水材)
- コ. 防水モルタル仕上(接着剤使用)

サ. 接地工事
シ. 完成

(6) 工事使用機械類(バックホー、ブルドーザ等)

(7) 工事保安施設
ア. 工事標示板
イ. 安全柵
ウ. その他

(8) 工事使用材料(鉄柱、水柱、電線、電線管、灯具、安定器等)
ア. 搬入状況
イ. 保管状況
ウ. 検査立会等

3. 主要撮影場所の撮影枚数

主要撮影場所	撮影枚数
照明柱完成写真	全数
照明柱点灯写真	〃
引込柱(開閉器箱取付)完成写真	〃
ハンドホール完成写真(埋め戻し前)	〃
地中埋設配管(埋め戻し前)	全区間数
埋設標識シート(埋め戻し前)	〃
コンクリート基礎出来形	全数

上記以外の工種については監督職員の指示に従うこと。